

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。								
1	R2～R6	企業ガイダンス開催事業	求職者の就業と企業の人材確保を支援するため、UIターン就職フェアと企業ガイダンスを開催する。	参加企業数(社)	16	0	0	15	52	3. 地方創生に効果があった	質問① 求職を希望する市民と市内企業の人材を確保、移住・観光PRができた。 質問② コロナ以降平時の業務に加え県央ネットやまなしでも合同企業説明会を行ない、地元企業とのマッチングに成果がある。	2. 事業の継続	質問① 県外へ進学した大学生がUターンせず、市外へ流出していく傾向があり、人口対策・経済活性化策として、雇用の場の確保として事業継続の必要がある。	(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)	予算額(R6)	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
2	R2～R6	勤労者生活安定資金貸付金預託事業	勤労者の生活安定に寄与するため、中央労働金庫と協調して融資を行う。	審査基準に合格した勤労者(人)	3	4	3	2	2	3. 地方創生に効果があった	質問① 市と中央労働金庫とが協調して融資を行うことで、勤労者の生活安定に寄与することは、勤労意欲の向上になる。 質問② 毎年一定数の利用があり、勤労者の生活安定に寄与している。	2. 事業の継続	質問① 幅広く市民へ制度の周知を図り、働く者への融資を通じ、勤労者の生活安定に寄与する。	(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)	予算額(R6)	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
3	R2～R6	商工業事業資金利子補給支援事業	商工業者が経営安定と事業発展のための資金融資を受けた場合、利子を補給する。	経営安定が図られた商工業者(数)	32	13	10	8	6	3. 地方創生に効果があった	質問① 商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行うことで、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に効果があった。 質問② コロナ禍の影響もあり実績値が減少傾向にあるが商工会へ書面で明確なルールを示すなど周知指導に努めてきた。	2. 事業の継続	質問① 意欲がある商工業者経営者から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)	予算額(R6)	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
4	R2～R6	小口金融融資保証料支援事業	資金調達困難な小規模事業者の担保力を補い、零細小口金融の疎通を図る。	経営安定と事業発展が図られた申請者(人)	9	2	13	6	1	3. 地方創生に効果があった	質問① 資金調達が困難な小規模事業者の信用力及び担保力の不足を補う零細小口金融の疎通を図り、経営安定に繋がった。 質問② 情勢により他に有利な融資があればより有利な支援を選ぶ傾向にある。	2. 事業の継続	質問① 本制度を利用することで市内企業の経営安定や事業発展に繋がることが期待できるため、継続的に支援する必要がある。	(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)	予算額(R6)	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
5	R2～R6	地域ものづくり企業成長投資支援事業	企業の設備投資を支援し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた企業(社)	6	4	7	5	4	3. 地方創生に効果があった	質問① 企業が設備投資に要する経費に対し一部財政支援を行ったことにより、産業の成長基盤の強化が図られた。 質問② いくつかの企業が複数回利用している。国等でも同様の補助金があり利用者は条件の良い方へ選択している	2. 事業の継続	質問① 企業の設備投資意欲に応じ、企業の経営安定と事業の発展により、企業振興に繋がると継続的に支援する必要がある。	(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)	予算額(R6)	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
6	R2～R6	農業後継者支援事業	県立農業大学校へ通学している学生を奨学助成金により支援し、農業の担い手育成の一助とする。	新規認定農業者数(人)	13	8	8	14	14	3. 地方創生に効果があった	①市内への就農促進に繋がった。 ②人数の増減はあるが、継続して認定が行われている。	3. 事業の継続	①農林業の担い手や後継者の促進に繋がるよう大学と学生との協調を図り事業を実施していきたい。 ②特になし	(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)	予算額(R6)	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。								
7	R2～R6	環境保全型農業直接支払制度支援事業	減農薬に取り組み、地球温暖化防止・生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う団体を支援する。	実施した地区(地区)	1	1	1	1	1	3. 地方創生に効果があった	質問① 減農薬に取り組むに農業者団体に対し、支援をすることで取組面積を増やすことができた。 質問② 実施した地区は1地区ではあるが、令和2年度に比べ、事業費額は増えており、環境に配慮した営農活動を広めることができた。	3. 事業の継続	質問① 引き続き、環境保全に取り組む団体に対し、この事業を通じて支援していきたい。 質問② 特になし。	445	889	1,206	1,306	1,290	1,505	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
8	R2～R6	農林業政策推進事業	農林業の振興と6次産業化・事業化の推進を図るため、必要な調査研究を行う。	栽培可能な新作目(種)	1	1	0	5	4	3. 地方創生に効果があった	質問① 様々な品種の試験栽培を行っている。 質問② 本市で栽培可能な新作物の調査研究を行っているが、なかなか有望な作物の特定に至っていない。	3. 事業の継続	質問① 引き続き、エゴマ、カメリナなどの栽培の可能性を検討していく。 質問② 特になし。	1,455	450	0	315	438	466	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
9	R2～R6	南アルプスブランド戦略事業	南アルプスブランドの確立により、農業の付加価値を高め、産地間競争力の強化を図る。	貴陽・皇寿・シャインマスカット・あんぼ柿の出荷量(kg)	558,775	644,627	708,575	819,087	805,657	3. 地方創生に効果があった	①百貨店大手である伊勢丹立川店の特別販売会において、貴陽だけで前年度比約2.3倍の売上があり、高級志向への定着につながっている。 ②前年度比こそ低下したが、天候に大きく左右される果実にもかかわらず数年前から増加していることは効果があると思慮する。	3. 事業の継続	①ブランドという意識に働きかける活動は同様の手法に別の手法を交えながら長期的に取り組む必要がある。 ②特になし	4,451	15,390	28,338	17,387	10,720	141,729	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
10	R2～R6	就農支援事業	農家子弟がリース方式で経営規模拡大のために必要な農業用機械等を導入する時に支援する。	申込をした新規農家子弟(人)	-	2	0	0	0	4. 地方創生に効果がなかった	①事業利用の申出がなかった。 ②事業利用申請は低調であった。	5. 予定どおり事業終了	①令和5年度末で県事業が終了に伴い、市でも廃止とする。 ②特になし	-	2,347	0	0	1,200	0	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
11	R2～R6	担い手支援事業(地域おこし協力隊支援事業)	都市在住で農業の意欲を持つ者から新たな担い手を育成し、移住者獲得を目指す。	協力隊員数(人)	7	7	8	7	6	3. 地方創生に効果があった	①令和5年度末で第4期が終了し、6名の隊員が市内に定住した。 ②第4期では、当初10名が隊員となったが、途中で除隊される方が多かった。	3. 事業の継続	①途中で除隊する隊員が出ないよう努めながら、引き続き事業を行っていく。 ②特になし	22,829	18,725	27,359	29,857	30,084	33,934	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
12	R2～R6	新規就農者育成総合対策事業(農業次世代人材投資事業)	新規青年就農者の拡大を図るため、経営が安定するまでの最長3年間給付金の支給と経営発展のための補助金を支給する。	この事業の対象になった市民等(人)	13	11	9	13	10	3. 地方創生に効果があった	①新規就農者にとって農業経営開始時の支援に効果を発揮している。 ②継続して事業利用者を確保できている	3. 事業の継続	①事業利用希望が多く、引き続き、事業を実施していく考えがある。 ②特になし	18,000	13,547	11,909	31,017	15,000	107,550	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
13	R3～R6	中高年の新規就農者支援事業	50歳から65歳未満の新規就農希望者に対して、就業リスクの軽減を目的に補助金を交付し、高齢化等による担い手不足の解消や遊休農地等の活用を図る。	50歳から65歳未満の新規就農者			3	3	2	3. 地方創生に効果があった	①当市では中高年の担い手確保を促進していることを市内外に知らしめることができています。 ②事業利用者がは低調である。	3. 事業の継続	①事業の紹介に努めることで事業利用者を増やしていきたい。 ②特になし			4,500	4,500	10,500	3,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課



第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。								
14	R2～R6	南アルプスIC新産業拠点整備事業	南アルプスIC周辺の新産業拠点整備事業用地(旧完熟農園跡地)の再開発を図る。 ※用地買収費は除く	①用地交渉を完了した地権者の割合(%) ②事業用地に参入した企業数(社)	①100 ②0	①100 ②0	①100 ②0	①100 ②2	①100 ②2	3. 地方創生に効果があった	質問①② 地域の賑わい創出と地域活性化に資する企業(大手と地元2社)を誘致している。	5. 予定どおり事業終了	質問① プロジェクト的な位置づけから観光や商業の通常政策として運用していく。効果を最大化すべく、施設を活かしたソフト展開を図ることが必要となる。 質問② 特になし	16,029	16,735	21,529	225,948	1,194,846	88,522	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室
15	R2～R6	南アルプスIC周辺整備事業	交通利便性に優れ、地域経済の牽引に繋がる可能性の高い南アルプスIC周辺エリアについて、開発可能性を探り、更なる土地利用を図る。	事業用地に参入した企業数(社)	-	0	0	0	0	4. 地方創生に効果がなかった	質問①・質問② 令和5年度まではエリア全体の高度活用推進計画の策定段階であり、本事業に対する機運の醸成を図ってきた。効果についてはこれからの事業展開により現れてくる。	3. 事業の継続	質問① 高度活用推進計画を指針として、今後、具体的な事業化への協議・検討段階となるため、継続して本事業に取り組む必要がある。 質問② 現時点では具体的な活用段階ではない。	-	4,424	20,387	9,334	9,604	35,909	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室
16	R2～R6	新規創業者資金借入補助金支給事業	新規に創業する事業者に借入金を補助し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた商工業者(数)	4	7	3	3	2	3. 地方創生に効果があった	質問① 商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。 質問② 創業支援事業と紐づいており、毎年一定数の利用があり創業支援に繋がっている。	3. 事業の継続	質問① 意欲がある商工業者経営者(創業後5年未満)から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	344	333	268	246	485	485	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
17	R2～R6	創業支援事業	地域産業の活性化を図るため、創業支援セミナーやP-1グランプリ(市産果物のビューレを使った新商品のコンテスト)を開催する。	雇用創出数(件)	17	11	15	11	13	3. 地方創生に効果があった	質問① 商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。 質問② 創業支援事業と紐づいており、毎年一定数の利用があり創業支援に繋がっている。	3. 事業の継続	質問① 意欲のある女性・若者などが創業・起業を実現できるよう、効果的な支援が必要である。	4,082	1,264	2,232	1,990	3,620	4,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
18	R2～R6	南アルプス市産業立地事業費助成金交付事業	企業立地を促進し雇用機会の拡大を図り、地域産業の振興及び市民生活の安定に寄与する。	操業開始企業数(社)	1	1	1	1	1	3. 地方創生に効果があった	①②積極的な企業訪問や情報発信により企業の動向把握を行い、市内外の企業から新規用地や既存企業の事業規模拡大についての相談がある。	3. 事業の継続	①企業誘致は地域経済全体の活性化に繋がるため、引き続き効果的な支援が必要。	41,681	10,187	0	100,000	21,324	20,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
19	R2～R6	企業支援誘致推進事業	企業の工場拡張や企業誘致などの支援を行い、産業経済の活性化を図る。	新規工場立地数(数)	2	1	4	4	3	3. 地方創生に効果があった	①②R5より誘致推進事業費を特別会計に集約しているが、企業の投資意欲の高まりもあって届出数は横ばいであった。	5. 予定どおり事業終了	①R5より誘致推進事業を特別会計に集約したためR5年度の事業費はない	1,155	1,117	1,465	1,072	0	0	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
20	R2～R6	南アルプス市フルーツ山麓フェスティバル開催事業	観光の柱である山岳観光と果樹観光を県内外にPRし、市民が楽しめるイベントを夏と秋に開催する。	①市外参加者数(人) ②延べ参加人数(人)	①3,000 ②36,000	①500 ②3,000	①600 ②1,300	①1,200 ②7,000	①1,700 ②9,620	2. 地方創生に相当程度効果があった	昨今の天候不順や熱中症等を踏まえ、試行的にフェスティバルと紅葉祭を秋開催にした。また、紅葉祭については、4日間開催し来訪者の平準化を図るなどし、両イベントとも多くの参加者が訪れた。	3. 事業の継続	現状の観光推進施策が、山や果物の時期を中心に積極的に行っていることや台風による天候不順対策を踏まえ、開催時期の検討を図るとともに、期間開催による来訪者の平準化や従来のイベントにとらわれず、多くの方が楽しめるイベントを柔軟に開催して行きたい。	13,518	2,276	4,787	11,093	11,447	12,587	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課			
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)		
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。										
21	R2～R6	観光プロモーション事業	観光を経済の柱に育てるため、交通アクセスの向上を活かしたプロモーション事業を行う。	ユネスコエコパークガイドマップ配布数(部)	-	18,000	20,000	20,000	20,000	2. 地方創生に相当程度効果があった	静岡県内を中心に長野県での観光PRに加え、VF甲府との連携事業としてアウェーゲームでの近隣自治体と観光PRを行うなどし、ガイドマップも大変好評を頂いている。また、美術館や道の駅らねの直売所等にもVF甲府のホームゲームに来た方が訪れるなど、静岡や長野ナンバーの自動車を訪れており、南アルプスへの来訪意欲の醸成も進んでいると思われる。	3. 事業の継続										II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課
22	R2～R6	ふるさとづくり推進事業	市の魅力に触れ愛着を感じてもらえるような着地型観光を企画する団体を支援する。	県外からの参加者数(人)	37	0	0	29	39	3. 地方創生に効果があった	予定通りの開催を実施したが、参加人員が当初の予定より届かない企画もあり、今後でも難しい面があったが、事業者も工夫しながら参加者の募集を行い実施した。	3. 事業の継続	746	-	-	188	334	500			II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課	
23	R2～R6	シティプロモーション事業	市の魅力を発信し、市の知名度を高めるシティプロモーション事業を行い、交流・定住人口の拡大を目指す。	市ホームページへのアクセス数(上段:トップページ、下段:全体)	-	313,512件 2,708,327件	410,652件 3,228,149件	415,367件 2,950,413件	564,364件 3,413,402件	3. 地方創生に効果があった	質問① HPにおける交流・定住についての情報提供は交流・定住に向けた第一歩であるため、閲覧数の増加は地方創生に一定程度の効果はあったと判断できる。 質問② 交流・定住の情報発信の入り口としてHPの閲覧数が伸びていることは評価できる。内容の見直しは随時図っていく必要がある。	3. 事業の継続	-	8,453	0	4,026	3,147	2,865			II 新しいひとの流れをつくる	秘書課	
24	R2～R6	若者世帯定住支援奨励金事業	定住促進を図るため、市内に土地と建物を新築・購入する若者世帯に購入費の一部を助成する。	申請件数(件)	140	120	162	124	156	1. 地方創生に非常に効果的であった	令和元年度より100件以上の申請があり、定住策に貢献している(申請件数156件)	3. 事業の継続	32,800	34,500	43,600	36,700	35,800	52,400			II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課	
25	R2～R6	交流定住促進事業	都市住民と定住・移住・二地域居住に関する情報交換を行い、交流定住人口の拡大を図る。	説明会等への参加者数(人)	32	0	6	15	40	1. 地方創生に非常に効果的であった	令和元年度より社会増となり着実に成果を出している	3. 事業の継続	134	74	135	4,647	3,528	5,586			II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課	
26	R2～R6	空き家バンク事業	空き家の登録・情報提供を行い、定住・移住・二地域居住を促進して地域の活性化を図る。	空き家バンク成約数(件)	13	9	7	5	7	1. 地方創生に非常に効果的であった	制度の周知をすることで、登録希望数が増加した。(登録数10件)	3. 事業の継続	5,952	6,008	2,496	5,497	4,760	7,230			II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課	
27	R2～R6	芦安地区地域おこし協力隊事業	人口減少と高齢化が進む芦安地区に地域おこし協力隊を採用し、地域力の維持強化を図る。	地域活動参加者(人)	140	156	388	403	440	3. 地方創生に効果があった	①制度開始から7年が経過し、地域住民の理解も深まり浸透してきている。 ②住民の地域事業への参加者は年々増加している。	3. 事業の継続	12,001	3,979	7,616	7,974	4,055	8,721			II 新しいひとの流れをつくる	芦安窓口サービスセンター	



第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。								
28	R2～R6	住宅リフォーム等総合支援事業	住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市内業者によるリフォーム工事の一部を補助する。	リフォーム住宅の申し込み数(件)	60	59	60	59	80	1. 地方創生に非常に効果的であった	①市民の居住環境の向上と市内産業の活性化に寄与した。 ②順調に事業が実施できている。	3. 事業の継続	①当面の間は現在と同様の規模で継続する予定。 ②なし	6,000	5,900	6,000	5,900	8,000	10,000	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	管理住宅課
29	R3～R6	結婚新生活支援事業	新婚世帯に対して、結婚に伴う新生活の費用(住宅取得費・家賃・引越)を補助する。	市内に居住する新婚世帯(令和3年度の場合、令和3年1月1日以降に婚姻した夫婦で、夫婦ともに39歳以下、世帯所得400万円未満の世帯)			16	31	55	1. 地方創生に非常に効果的であった	制度の周知をすることで、申請件数が増加した(申請件数55件)	3. 事業の継続	引き続き事業を継続することで、実際に本市を体験し、将来的に定住に繋げるために支援する必要がある。			4,460	8,081	16,353	21,600	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
30	R2～R6	地域子育て支援事業	子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業を実施する。	利用者(人)	6,500	6,500	3,832	17,511	19,136	1. 地方創生に非常に効果的であった	未満児の一時的な預かり先、緊急時の預かり先として効果的であった。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、利用者ニーズに応えながら、子育て支援の充実を図る。	41,356	47,541	48,014	67,184	64,366	76,500	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
31	R2～R6	子ども用品貸出事業	子育て世帯の負担軽減のため、希望者にベビーベッドとチャイルドシートを無料で貸し出す。	安全に利用できた人(%)	100	100	100	100	100	1. 地方創生に非常に効果的であった	1歳になるまでしか使用しないベビーベッド・乳児用チャイルドシートを無償貸与することで、子育て世帯の経済的負担の軽減につながり、大変効果的であった。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、利用者ニーズに応えながら、子育て支援の充実を図る。	2,758	3,160	3,165	3,209	3,288	3,793	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
32	R2～R6	子ども医療費助成事業	18歳までの子どもの医療費を助成し、子育て家庭の負担軽減と子どもの保健福祉の増進を図る。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	45.2	52.1	50.9	53.8	53	1. 地方創生に非常に効果的であった	子育て世帯の医療にかかる負担を大幅に軽減するとともに、児童の健やかな成長に寄与し、大変効果的であった。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、利用者ニーズに応えながら、子育て支援の充実を図る。	344,128	286,601	324,439	333,218	381,230	396,102	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
33	R2～R6	病児・病後児保育事業	子どもの保健福祉の増進を図るため、病児・病後児保育を行う私立保育園を支援し、受入れ自治体に負担金を支出する。	利用者数(人)	300	385	472	561	866	1. 地方創生に非常に効果的であった	制度の周知等により、利用者が年々増加している。	3. 事業の継続	引き続き事業を継続し、利用者ニーズに応えながら、保健福祉の増進を図る。	14,565	18,369	17,550	19,514	22,235	24,582	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
34	R2～R6	児童手当給付事業	子どもの健全育成を社会全体で支えるため、中学生までの児童を養育している者に手当を支給する。	支給した児童の割合(%)	98	99	99	99	99	1. 地方創生に非常に効果的であった	子育て世帯に給付金を支給することで、子育て世帯の経済的負担の軽減と児童の健やかな成長に寄与し、大変効果的であった。	1. 追加等更に発展させる	引き続き事業を継続し、利用者ニーズに応えながら、子育て支援の充実を図る。	1,183,326	1,153,950	1,132,840	1,118,200	1,109,015	1,126,450	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
35	R2～R6	新生児おむつ代支給事業	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳児の紙おむつ等の購入を補助する。	子育てが楽しいと回答する母の割合(%)	89.3	91.2	88.6	88.6	87.0	3. 地方創生に効果があった	①おむつ代支給事業は、子育てを担う親の経済的支援の一助であり、子育てしやすい南アルプス市に繋がる一つの事業である。 ②本事業だけで判断は難しく、子育て支援課の同様事業と合わせて評価する必要がある。利用者には講評だが、増額希望も若干ある。応援給付金がR4年度末から給付のため検討の余地あり。	3. 事業の継続	①本市独自の子ども立て支援事業の一つであり、保護者からもおむつ代支給については、「経済的に助かっている」という声も聞かれている。今後も、子育て支援の一助として継続していくことが必要である。	11,485	11,826	11,719	12,025	11,256	12,346	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	健康増進課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課		
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)	
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。									
36	R2～R6	男女共同参画啓発事業	男女共同参画社会の必要性について理解を深めてもらうため、啓発活動を行う。	男女共同参画の推進が重要だと思ふ市民の割合(%)	64.5	64.7	67.3	65.2	63.0	3. 地方創生に効果があった	①市民や職員に向けた研修の実施や、興味関心が持てるように女性のキャリアアップ講座を開催した。また、情報誌を作成し広く周知啓発に努めた。 ②数値の変動はあるが、今後も継続した取り組みが必要と考える。	3. 事業の継続	国・県の計画と整合性を取りながら本市の計画が策定されている。その計画に沿った市民向けの継続事業が必要と考える。R6年度新たに		169	222	344	238	263	358	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
37	R2～R6	ハーモニーフォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向け、市民の理解と関心を深めるため、フォーラムを開催する。	男女共同参画の推進が重要だと思ふ市民の割合(%)	64.5	64.7	67.3	65.2	63.0	3. 地方創生に効果があった	①自治会連合会とハーモニープラン推進会議合同講演会を開催した。男女共同参画の重要性を伝える場として有効であった。 ②数値の変動はあるが、今後も継続した取り組みが必要と考える。	3. 事業の継続	市民のために学びの機会は大変な機会である。今後も継続が必要である。多くの参加者を募ることが課題ではある。		190	166	110	119	190	235	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
38	R2～R6	人権擁護委員活動事業	人権相談や啓発を行う人権擁護委員の活動を支援する。	①相談会に訪れて満足された市民の数(人) ②人権問題に理解を深めた市民の割合(%)	① ②	(相談者なし)	(相談者なし)	(相談者なし)	(相談者なし)	3. 地方創生に効果があった	イベント会場等にて人権擁護委員の活動内容の周知と、人権擁護の必要性を深めるための啓発活動は、有効な手立てである。	3. 事業の継続	相談会に相談者がいなくとも、身近な場所に相談できる場があることの大切さと、イベント等における啓発活動を継続し行う必要がある。		90	186	173	177	811	161	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
39	R2～R6	防災リーダー養成講座協働事業	地域防災力の強化を図るため、地域防災活動を普及啓発・指導できる防災リーダーを育成する。	①市防災リーダー養成講座修了者数(人) ②甲斐の国防防災リーダー養成講座修了者数(人)	①40 ②5	①64 ②5	①35 ②10	①37 ②10	①36 ②9	1. 地方創生に非常に効果的であった	①地域に防災リーダーが増えることで、地域防災力向上に繋がった。 ②継続的に事業が進められ、防災リーダーが増加している。	3. 事業の継続	①今後も同様に継続していく。 ②なし		125	126	175	183	167	277	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理課
40	R2～R6	子ども若者ささえ愛基金事業	子ども及び若者の未来を応援するために活動している団体等に助成金を交付する。	参加人数(人)	-	2,246人	3,745人	4,843	5,232人	3. 地方創生に効果があった	①つながりの希薄化や孤独・孤立が課題となる中で、子ども若者を主眼とした居場所づくりは世代・属性をこえた地域の交流促進につながっている。 ②申請団体、参加者ともに増加傾向で、居場所づくりの活動が広がることを後押ししている。企業等の寄附もあり支えあいの循環が生まれている。	3. 事業の継続	①身近な地域に多様な居場所が生まれることが、誰も取り残さない地域共生社会の実現につながる。住民主体の活動を支える事業として、参加者・活動者・寄付者それぞれにアプローチを意識しながら継続していく。 ②なし。		-	731	821	840	2,500	2,500	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課
41	R2～R6	生活支援体制整備事業	単身や夫婦のみの高齢者世帯や認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、ボランティア等の生活支援サービスを担う事業体と連携をしながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図る。	①生活支援コーディネーター(人) ②協議体の設置数(箇所)	①2 ②16	①2 ②16	①2②16	①2②16	①2②16	3. 地方創生に効果があった	①自治会を圏域とする第3層協議体において、様々な活動が生まれ、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。 ②実績値は変わっていないが、生活支援コーディネーターを中心に、協議体活動が広がってきており、今後も第3層協議体の創設に向け取り組んでいく。	3. 事業の継続	①協議体活動を広く周知し、より細かく地域のニーズや課題を吸い上げることができる第3層協議体の創設を推進するとともに、現在活動している58の協議体を支援していく。 ②なし		7,926	8,970	9,338	9,192	9,164	9,873	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	介護福祉課



第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。								
42	R2～R6	CSW配置事業	地域の身近な相談支援機関として、個別支援や様々な地域課題の解決に向けた取り組みをコーディネートする専門員としてコミュニティソーシャルワーカーを配置する。	相談件数(件)	352件 内訳 135件 (新規) 217件 (継続)	771件 内訳 597件 (新規) 174件 (継続)	746件 内訳 322件 (新規) 424件 (継続)	520件 内訳 205件 (新規) 315件 (継続)	698件 内訳 145件 (新規) 553件 (継続)	3. 地方創生に効果があった	①福祉総合相談体制における身近な地域のワンストップ相談の機能として定着してきた。住民、民生委員等から困りごとをキャッチし、市の窓口には届かない小さな困りごとにも対応している。 ②民生委員、協議体等にその存在が定着し、毎年一定の新規相談が入っている。	3. 事業の継続	①重層的支援体制整備事業の実施に向けて、身近な地域で「断らない相談」の機能を担う重要な事業である。生活課題の解決につながる地域づくりの強化を含め、さらなる定着を図りつつ継続していく。 ②なし	25,000	25,000	25,000	25,000	19,000	19,000	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課
43	R2～R6	幸せ実感南アルプス市健康リーグ事業	健康からまちづくりを推進し医療費の抑制につなげるため、補助金事業とポイント制によるウォーキング事業を通じて健康意識の高揚を図る。	①ポイント引換数(枚) ②補助金交付数(件)	①2,784 ②1	①2,033 ②2	①2,049 ②1	①1,711 ②2	①1,902 ②3	3. 地方創生に効果があった	①歩くことによって健康ポイントが付与されお買物券と引き換える。市内の健康リーグ加盟店で利用でき地域の貢献に繋がる。 ②ポイント引換数はやや減少傾向にある。参加者は毎年同じ人が多く、新規参加者の増に向け工夫が必要である。	3. 事業の継続	①市民の健康づくりに取り組む団体・個人へ継続して支援する必要がある。 ②現在は万歩計とスマホアプリを併用しているが、専用の万歩計が生産中止となり、在庫が無くなり次第スマホアプリのみに移行する。	7,007	9,136	6,924	6,587	7,922	10,665	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
44	R2～R6	健診(検診)事業	疾病を早期に発見し早期治療につなげること及び更なる健康の増進をはかるため、各種健診(検診)を実施する。	①健診申し込み延べ人数(人) ②健診申し込み実人数(人)	①72,311 ②20,806	①67,997 ②19,818	①64,525 ②19,695	①67,337 ②19,842	①63,975 ②20,045	3. 地方創生に効果があった	①健診申込者数・受診者数ともに前年度よりも増加した。市民一人ひとりが健診結果から自らの健康状態に関心を持ち、生活習慣を見直し、生活習慣病の発症を防ぐためには必要な事業である。 ②コロナの影響で検診受診者は一時減少したが、完全予約定員制の普及による利便性の向上、感染対策により増加傾向にある。	3. 事業の継続	①生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組み、健康の保持・増進に繋げる。 ②各種健診を完全予約制にしたことで変更の電話が増加している。システムを導入することで職員の負担軽減、市民の利便性向上が期待できる。	219,826	209,891	203,209	214,537	207,018	248,886	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
45	R2～R6	救急医療体制整備運営支援事業	休日夜間の当番医の日程調整等の業務を中巨摩医師会に委託し、救急医療体制を確保する。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	4,259	2,609	2,655	2,957	3,719	3. 地方創生に効果があった	①市民の救急医療受け入れ体制を確保することで、市民が安心して医療が受けられることに繋がる。 ②増減はあるが引き続き救急医療体制を確保していく必要がある。	3. 事業の継続	①地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	1,598	1,591	1,585	1,585	1,584	1,587	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
46	R2～R6	救急医療確保対策事業	救急医療整備のため、中巨摩医師会へ在宅型急患事業の委託、市内二次救急病院へ補助金交付を行う。	休日夜間救急医療受診人数(人)	4,259	2,609	2,655	2,957	3,719	3. 地方創生に効果があった	①医師会への委託料・不採算の深夜帯を担う3病院への運営支援を行うことで地域の救急医療体制の確保を図る。 ②増減はあるが引き続き救急医療体制を確保していく必要がある。	3. 事業の継続	①地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	36,755	38,038	37,718	38,078	39,121	52,465	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
47	R2～R6	交通政策推進事業	市民の足としての公共交通を確立し、高齢者等の外出機会の創出と地域の活性化を図る。	①利用者(人) ②走らせた本数/日(本)	①52,763 ②50	①54,394 ②50	①60,605	①72,533	①86,059	3. 地方創生に効果があった	毎年度、利用者が増加している。特に通勤通学者の利用が伸びている。	3. 事業の継続	コミュニティバスを含め、本市に適した公共交通網を整備していく必要がある。	92,634	104,982	105,454	115,772	125,805	144,443	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料4】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標					R6評価結果(R5実績)・R1～R5までの評価結果等				事業費(単位:千円)						第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課	
				本事業における成果指標(単位)	(参考)実績値(R1)	(参考)実績値(R2)	(参考)実績値(R3)	(参考)実績値(R4)	実績値(R5)	実施効果		今後の方針		(参考)決算額(R1)	(参考)決算額(R2)	(参考)決算額(R3)	(参考)決算額(R4)	決算額(R5)			予算額(R6)
										1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	質問① どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。 質問② また、R2からR5までの成果指標の結果に対する意見を具体的に記入ください。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	質問① 今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。 質問② デジタルを活用した事業の推進を具体的な例や提案があればご記入ください。								
48	R2～R6	路線バス支援事業	生活に必要なバス路線を維持するため、自主運営バス業務を委託し、赤字バス路線事業を補助する。	①過去1年間の路線バス利用者(%) ②事業費に対する本市の負担割合(%) ③事業者の事業収益における補助金の割合(%)	①12.3 ②12.4 ③19.7	①9.5 ②14.4 ③28.0	①8.1 ②14.3 ③30.9	①10.8 ②12.9 ③24.3	①11.8 ②14.3 ③23.1	3. 地方創生に効果があった	支援事業の実施により、バス路線が維持され、市民生活の利便性が図られた。	3. 事業の継続	バス利用者を増やすためのPR活動等を行い、安定したバスの運行確保に務めていく。	12,651	14,305	14,046	13,444	13,964	14,486	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課
49	R4～R6	自然エネルギー導入促進事業	地球温暖化防止につながる自然エネルギー導入を促進するため、市民が理解を深められる施策を実施する。	自然エネルギーへの関心率	82.7%	72.0%	73.3%	78.0%	80.0%	3. 地方創生に効果があった	①小学生にエコ工作教室を通して自然エネルギーについて、PRすることができた。 ②年々自然エネルギーへの関心率が高まり、効果があると思われる。	3. 事業の継続	①参加希望者が多いため、一部自己負担金を取りながら人数を増加、事業拡大を検討していきたい。 ②特になし	390	98	92	158	152	209	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	環境課
50	R4～R6	ユネスコエコパーク推進事業	南アルプスユネスコエコパークの推進体制確立を目指し、効果的な普及啓発事業を実施する。	ユネスコエコパークへの関心が高まった割合			95.0%	91%	96	3. 地方創生に効果があった	①小学校でのユネスコエコパーク学習支援事業が定着し、学習内容についても関心が高まったと回答した児童が9割を占めていることから効果があったと言える。 ②将来を担う小学生に毎年9割以上関心を持ってもらっていることは、非常に効果のある事業だと思う。	3. 事業の継続	①ユネスコエコパーク登録10周年を迎え、あらためて市内外へ向けて推進していく必要がある。まずは、庁内から意識付けが必要である。	5,494	2,488	6,713	8,888	9,617	12,192	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	観光推進課
51	R4～R6	楡形山アヤマメ保全対策事業	県自然記念物である楡形山アヤマメ群生の復活を目指し、保全対策と希少植物の保護を推進する。	保護策内のアヤマメの開花		13200本	10503本	6599本	38999本	3. 地方創生に効果があった	①成果指標であるアヤマメの花の本数については自然環境の影響もあり増減があるが効果は出ている。希少種については盗掘があったが、パトロール等により更に保全を推進している。 ②自然環境の影響があるため一概には言えないが、R5に大きく開花数が増加したことを考えると非常に効果があったと言える。	3. 事業の継続	①楡形山の保全活動は、アヤマメだけでなく、楡形山のもう一つの象徴である原生林の保護についても課題となっている。アヤマメだけでなく、全体を保全していく必要がある。	495	2,799	1,609	1,194	4,511	4,867	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	観光推進課
52	R4～R6	希少動植物環境保全事業	高山帯や楡形山等の希少動植物乱獲防止のため、パトロールや登山者へのマナー指導を実施する。	①パンフレット配布数 ②確認種類			①300 ②48	①300 ②40	①300 ②38	3. 地方創生に効果があった	①希少動植物について持ち帰り等の被害が確認されていないことは、周知活動の効果だと考える。 ②希少種の確認種類は自然環境による影響もあるため、今後も注視していく必要がある。	3. 事業の継続	①広河原⇒北沢峠間が2019年の台風による林道の崩落により不通となって以来、人が入らない区間はシカの食害が深刻化している。また、そのエリアにしかない希少種の保全も重要となる。パトロール等は必要である。	701	1,042	662	2,692	3,067	1,129	IV 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	観光推進課